



## ハイブリッドの歴史はまだまだ浅い。 だからこそ、この分野を突き詰めたい

森代 健史郎 さん トヨタ自動車株式会社 駆動HVユニット生技部  
情報工学研究科 博士前期課程 情報システム専攻 修了

初代プリウスは採算度外視で世に出されたということを知った時、トヨタの環境に対する強い危機感が伝わってきました。それならばハイブリッド車のコスト削減に取り組むことで、私も社会に貢献できるのではと感じ、入社に至りました。日本からの輸入によるコスト増のため、海外ではハイブリッド車がそれほど普及していないのが実情です。そこで私は、シンプルかつ作りやすいモーターの構造を開発するとともに、最終的には現地でハイブリッドの主要ユニットの生産工場を立ち上げるプロジェクトリーダーを夢見ながら日々の業務に邁進しています。



## 自分が設計した金型で製品が形になる。 将来は海外にも挑戦したい

梶原 友美 さん ホンダエンジニアリング株式会社 金型生産部  
情報工学府 博士前期課程 情報創成工学専攻 修了

「自動車」と「ものづくり」、どちらにも興味があった上に、大学で生産技術の面白さを知り、この分野で仕事がしたいと思いました。現在は主に、自動車のバンパーのような樹脂部品を作る金型を設計しています。自分が設計した金型によって、製品が世の中に作り出されていくことに魅力を感じています。今後、自動車のデザインが複雑化する中、常に対応できるように新しい金型技術を考えていきたいです。将来は、海外にも挑戦し、自分の視野を広げていくとともに、周りの人から頼られる一人前の技術者になりたいと思っています。



## 身近な車を通じて人々の暮らしに貢献。 世界を股にかけるエンジニアを目指す

青柳 貴彦 さん アイシン精機株式会社 CAE技術部  
情報工学府 博士前期課程 情報科学専攻 修了

現在、自動車のエンジンにオイルを潤滑させるシステムの制御ロジックの開発に従事しています。小さい頃から車が好きだった上、生活に車が欠かせない環境で育ったこともあり、身近な車を通じて社会に貢献したいと思っていました。難しい課題を乗り越えて作った製品・技術が、多くのお客様の暮らしに役立つと思うと、大きなやりがいを感じます。将来は、世界を股にかけるエンジニアになって、自分が開発したものを世界中の人々に使ってもらいたい。そのためには、もっと幅広い工学知識、英語でのプレゼンテーション力なども身につけていきたいですね。